

子どもたちが幸せに生きる熊本に！

熊本県議会議員 つつみ泰之活動報告

つつみ @ 通信



4月26日に開催させていただきました「つつみ泰之 春の集い」には約200名の方々にご参加いただき、誠にありがとうございました。今回、年度替わりのバタバタでご案内が遅くなり申し訳ありませんでした。当日は久しぶりにお会いできる方々ともゆっくりとお話が出来て大変励みになりました。皆様からの励ましを糧に今年度もしっかりと頑張ります！次の一般質問は本年9月を予定しています。世界は大きく動いています。トランプ政権による強力な関税措置の行方が気になりますし、ウクライナやガザ地区の今後に心を痛めています。人としての尊厳を守る政治が行われることを願います。

【中田宏 未来経営研究会特別講演会「全ては次世代の為に、これからの日本へ」】

5月16日、東京の品川プリンスホテルでの自民党 中田宏参議院議員主宰の未来経営研究会の特別講演に参加。実質的に今夏に改選される参議院選の全国の経営者を中心とした決起集会です。1,000人以上が参加され、元日本サッカー協会会長の川淵三郎キャプテンや中田先生の母校、青山学院大学陸上部の原晋監督がゲストとして今の政治には中田宏が必要だと檄を飛ばされました。



書籍紹介



『世界最強の地政学』

奥山真司/著

戦略研究の大家であり英米の国家戦略アドバイザーでもあったコリン・ 그레이博士に師事し、大局的な観点から『生きた地政学』というものを学んだ稀有な日本人である著者が古代から現代までの偉人たちの世界観や力の均衡、通商ルートやそのチョークポイントの重要性、地政学を前提とした大戦略の歴史を語り、戦争の目的は「勝利」ではなく「コントロール」の成功にあると説く。良書です！

今月の数字

熊本の相対的に貧困の状態にある子育て家庭の割合

13.3%(令和5年度)

相対的貧困とは、地域の生活水準と比較して多数の世帯よりも貧しい状態を指します。具体的には世帯の所得が国・地域の等価可処分所得の中央値の半分に満たない状況を指します。日本の相対的貧困率は先進国の中で高い水準にあり2021年のデータでは15.4%とOECD加盟国中7番目に高い数字で、G7の中で最低です。特にひとり親家庭の相対的貧困率は熊本で40.9%と著しく高い状況にあります。また令和5年調査の熊本県の1000人当たりの不登校児童数は40.8人と全国平均の37.2人より多くなっています。

製作者：つつみやすゆきプロフィール 1974年7月7日 熊本市中央区水前寺のツツミ薬局の5人兄弟の長男に生まれる。

[学校]託麻原小、帯山中、熊本学園大学付属高校、熊本YMCA学院建築科卒

[経歴]現場監督から建築設計事務所勤務を経て、福岡の不動産会社勤務。平成18年に開業・現職

2022年5月の熊本県議会議員選挙熊本第一選挙区補欠選挙にて20033票で初当選、2023年4月、10,789票で2期目当選

[資格]宅建士・宅建マイスター・不動産コンサルティングマスター・2級建築士・CFP（国際認定FP資格）・防災士